

講義科目名称： 地域母子保健演習

授業コード： 6630301300

英文科目名称： Seminar of Maternal and Child Health in Community

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子 高林知佳子 野口裕子 八巻ちひろ 鈴木まなみ			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【所属】</td> <td>【氏名】</td> <td>【所属】</td> </tr> <tr> <td>◎常盤洋子</td> <td>新潟県立看護大学</td> <td>八巻 ちひろ</td> <td>新潟県立看護大学</td> </tr> <tr> <td>高林 知佳子</td> <td>同上</td> <td>鈴木 まなみ</td> <td>筑紫野市健康福祉部子育て支援課</td> </tr> <tr> <td>野口 裕子</td> <td>同上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p>	【氏名】	【所属】	【氏名】	【所属】	◎常盤洋子	新潟県立看護大学	八巻 ちひろ	新潟県立看護大学	高林 知佳子	同上	鈴木 まなみ	筑紫野市健康福祉部子育て支援課	野口 裕子	同上		
【氏名】	【所属】	【氏名】	【所属】														
◎常盤洋子	新潟県立看護大学	八巻 ちひろ	新潟県立看護大学														
高林 知佳子	同上	鈴木 まなみ	筑紫野市健康福祉部子育て支援課														
野口 裕子	同上																

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践を説明できる。 2. 地域母子保健活動における助産活動やケアシステムの現状と課題について説明できる。 3. 地域母子ケアのプログラムの企画・実施・評価に関する理論を説明できる。 4. 母子の暮らしを見据えた地域母子ケアを実践するための地域診断・アセスメントについて説明できる。 5. 地域における産後ケアの模擬事業を企画・実施し、評価することができる。 6. 母子の暮らしを見据えた地域母子保健活動の課題および助産師の役割を考察することができる。
------	---

授業概要	<p>母子の暮らしを見据えた地域母子ケアを実践するための地域診断、アセスメント能力、助産ケアのプログラムの企画・実施・評価に関する理論を学ぶ。地域の特性や母子の健康レベルに応じた母子支援として、地域において実施されている産後ケア事業等の母子保健活動に関する助産活動やケアシステムの現状と課題を理解し、学内で課題解決に向けた産後ケア事業の提案及び健康教育の企画・実施を通して、地域で暮らす産後4か月程度までの母子と家族に対する母子保健活動の課題、臨床から地域への切れ目のない支援を実践するために必要な多職種連携・協働について考察する。</p>
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：地域母子保健演習についてオリエンテーション 学習内容：地域母子保健演習についてオリエンテーション 備 考：常盤</p> <p>2-3 授業内容 授業形態：演習 学習課題：地域母子保健活動における助産活動の現状と課題 学習内容：地域母子保健活動における助産活動の現状と課題 備 考：常盤・八巻</p> <p>4-5 授業内容 授業形態：演習 学習課題：子育て世代包括支援センターにおける助産師の活動 学習内容：子育て世代包括支援センターにおける助産師の活動 備 考：鈴木・常盤・八巻</p> <p>6-7 授業内容 授業形態：演習 学習課題：上越市における母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践 学習内容：上越市における母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践 備 考：常盤・八巻</p> <p>8-13 授業内容 授業形態：演習 学習課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画 学習内容：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画 備 考：高林・常盤・野口・八巻</p> <p>14-15 授業内容 授業形態：演習 学習課題：地域診断の結果及び産後ケア事業の発表、健康教育の実施・評価 学習内容：地域診断の結果及び産後ケア事業の発表、健康教育の実施・評価 備 考：高林・常盤・野口・八巻</p>
------	--

事前・事後学習	<p>地域母子保健特論の学修を振り返り自己の課題を明確にする。</p>
---------	-------------------------------------

評価方法、評価基準	プレゼンテーションとディスカッションへの参加度30%、地域診断発表・産後ケア事業提案・健康教育の企画・実施50%、レポート課題20%を基準として総合的に判断する。
テキスト	我部山キヨ子（編）：地域母子保健・国際母子保健，医学書院，2023.
参考図書・資料等	最新公衆衛生看護学2022 各論1・2（日本看護協会出版会） 標準保健師講座 公衆衛生看護学概論第6版（医学書院） 助産師業務要覧2024年版 IIIアドバンス編（日本看護協会出版会）
受講、課題、資料配布等のルール	授業で使用する資料は事前に参加者に配布すること
教員からのメッセージ	母子の暮らしを見据えた地域母子ケアに対する資料や情報を収集し、自らが暮らしている地域における地域母子ケアについても考えを深めてください。
オフィスアワー	在室時は可能な限り対応します。事前にメール等で日程を招請してください。